

## 富山大学杉谷キャンパス等ESCO事業提案の講評・概要

本ESCO事業は、「富山大学エネルギー管理・地球温暖化対策推進要項」に基づくエネルギーの使用の合理化及び地球温暖化防止対策の推進をより一層進めるため、民間のノウハウ、資金、経営能力及び技術的能力を活用することによって、更なる省エネルギーの推進、環境負荷の低減及び光熱水費等の効果的な削減を図ることを目的としたシェアード・シェイピングス契約によるESCO事業です。

先般、広く事業提案を募集したところ2企業グループから事業提案が提出されました。

富山大学建設コンサルタント選定委員会は、これらの提案書並びに提案書に基づいた各企業グループのプレゼンテーションを受け、本ESCO事業提案審査要項に則り、厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案(優先交渉権者)として(株)シーエナジーを代表者とするグループを、優秀提案(次選交渉権者)として北陸電気工事(株)を代表者とするグループを選定しました。

最優秀提案の概要は、高効率熱源機器(熱回収水冷チラー等)及び放熱用熱交換器の導入、蓄熱槽の効率的有効活用、省エネチューニング、3キャンパス・1団地への省エネ設備の導入、遠隔監視システムによる計測・検証、運転管理、維持管理による省エネ・コスト削減等について、具体的で妥当性があり、全体に統一の取れた計画となっています。さらに、省エネ効果等に加えて大学利益総額が大きく、本学の公募要項に沿った適切な提案と高く評価しました。

また、優秀提案の概要は、高効率熱源機器(空冷式HPチラー)及びハイブリッド型ヒートポンプ給湯システムの導入、蓄熱槽の効率的有効活用、2キャンパス・1団地への省エネ設備の導入等が提案されており、大学利益総額が大きく、本学施設の今後の省エネルギー方策を考える上において技術的かつ施設管理のあり方を示唆する優れた提案であると評価しました。

今回の募集に際しては、対象が富山大学の全キャンパスであること、また、富山県の気候等の地域特性及び事業対象施設の特質(教育・研究施設及び病院施設)を踏まえた省エネ設備更新及び運用改善・施設管理、並びに、災害時等の緊急事態に配慮した計画等の提案を要請しました。各々のグループからは、これに応じた様々な設備更新計画、運用改善や施設管理手法等の提案があり、省エネルギーと二酸化炭素の削減につながる先進的で意欲的な優れたアイデアやコスト削減を目指す取り組み等が提案されました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と優れたアイデアに基づいた貴重なご提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成28年12月22日

富山大学建設コンサルタント選定委員会

委員長 鷹西 貢